



## 2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東  
コード番号 3674 URL <https://aucfan.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武永 修一  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 杉山 真二郎 (TEL) 03-6809-0951  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	1,116	△5.3	45	961.6	30	736.7	26	—
2023年9月期第1四半期	1,179	△29.6	4	△93.4	3	△94.3	△168	—

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 △142百万円( —%) 2023年9月期第1四半期 △176百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年9月期第1四半期	円 銭 2.55	円 銭 —
2023年9月期第1四半期	△15.93	—

(注) 2023年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。また、2024年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年9月期第1四半期	百万円 6,894	百万円 4,484	% 64.9
2023年9月期	7,100	4,630	65.1

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 4,474百万円 2023年9月期 4,625百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,330	3.6	350	15.0	345	1.0	200	—	19.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期1Q	10,813,700株	2023年9月期	10,813,700株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	491,990株	2023年9月期	491,990株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期1Q	10,321,710株	2023年9月期1Q	10,596,710株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	4
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（会計方針の変更）	8
（セグメント情報等）	9
（重要な後発事象）	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

近年における国内のBtoB卸売市場は300兆円規模と推定（※1）されており、非常に大きな市場にも関わらずEC化率は未だ34.9%（EDI（※2）による取引を含む）と、オンライン化されていないBtoB市場は200兆円以上あると考えられます。また、海外市場に目を向けると、BtoB卸売市場規模は数千兆円以上と想定されます。

オークファングループはこの課題に真正面から向き合い解決すべく、コーポレートアイデンティティを「RE-INFRA COMPANY」と定義し、社会の様々な「RE」を統合した唯一無二の再流通インフラを構築し、流通市場のDX化に取り組んでおります。

当社グループは、当社グループの各サービスを利用していただく個人事業者・中小企業のお客様をAppreciator（アプリシエイター）と定義しております。Appreciateは「真価を認める、感謝する、面白く味わう、価値が上がる、買う」などの意味を持ちます。当社が定義するAppreciatorとは「真価を見出し、価値に感謝できる人」と考えており、Appreciatorの皆様が活躍できる社会の実現を目指し事業を推進しております。

具体的には、創業来培った700億件を超える売買データとAI技術により商品の時価を可視化、価格と販路を最適化するソリューション事業、Appreciator（中小企業・個人事業主）を中心とした小売・流通業向けに流通を支援するプラットフォーム事業を展開しております。

2023年9月期までは、プラットフォーム事業の中核であるNETSEA、NETSEAオークション、オフラインの展示・商談会事業OSR（オーエスアール）におけるオンライン及びオフラインのGMV（流通額）の拡大を狙った積極的なプロモーション等を実施しておりました。また中長期の事業拡大のためには海外BtoB卸売市場への展開が不可欠であると考えており、2022年6月より中国海南省に連結子会社「傲可凡（海南）网络科技有限公司」を設立し、人口14億人以上の中国バイヤーをはじめ、世界各国への流通インフラ構築に向けた海外向けサービス展開に着手しています。当期は、成長戦略を海外市場にシフトし、既存の国内事業で継続成長を目指しつつ、海外向けサービスのシステム開発等に積極的に投資をしております。

※1 経済産業省2023年8月31日発表 電子商取引に関する市場調査、BtoB-EC市場規模の業種別内訳より推察

※2 電子的データ交換（Electronic Data Interchange）の略称。受注や発注、出荷や納品などの流通に関わる一連の取引を電子データでやりとりする仕組み

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,116,820千円（前年同四半期比5.3%減）、営業利益は45,424千円（前年同四半期比961.6%増）、経常利益は30,407千円（前年同四半期比736.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26,341千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失168,773千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「在庫価値ソリューション」としていた報告セグメントの名称を「ソリューション」、「商品流通プラットフォーム」としていた報告セグメントの名称を「プラットフォーム」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

（ソリューション事業）

当セグメントは、データを基にAI技術を活用し在庫の価値を可視化することにより、企業が保有する在庫価値の可視化・最適化等を推進するソリューションを提供しております。主なサービスとしては当社が保有する流通相場データを活用した『aucfan.com（オークファンドットコム）』となり、主たる収益源は有料課金収入及びネット広告収入となります。その他、ネットショップ一元管理サービス『タテンポガイド』の提供、専門知識がなくても直感的に操作できるRPAツール『オークファンロボ』、副業・複業として物販ビジネスを行なう事業主を対象とするスクール形式の副業支援サービス『good sellers（グッドセラーズ）』、Amazonセラー専用アプリ『Amacode（アマコード）』、その他広告運用サービス等を提供しています。

当第1四半期連結累計期間においては、『good sellers（グッドセラーズ）』での法規制にともなうスクール開校数の減少の影響、その他『Amacode（アマコード）』での広告売上の減少等がありました。

これらの結果、売上高633,562千円（前年同四半期比10.5%減）、営業利益122,337千円（前年同四半期比22.1%減）となりました。

（プラットフォーム事業）

当セグメントは、企業の在庫・滞留商品等の流通を支援しており、オンライン及びオフラインにて複数のマーケットプレイスを運営しております。主なサービスとしては、BtoB卸モール『NETSEA（ネッシー）』、滞留在庫・返品・型落ち品などの流動化支援を行う『NETSEAオークション（旧 ReValueBtoBモール）』、オフラインの展示・商談会事業『OSR（オーエスアール）展示商談会』等がございます。主たる収益源は、NETSEAでは流通手数料収入及び有料課金収入、NETSEAオークションでは商品販売収入、OSRでは決済手数料収入及び出店料となります。

NETSEAでは前年同期にGMV極大化に向けた積極的なプロモーションを実施しておりましたが、当第1四半期連結累計期間においては、成長戦略を海外市場にシフトしたことに伴いプロモーションを効果的なものに抑制し、GMV並びに売上高が減少しました。また、NETSEAオークションでは大手サプライヤーの返品商品の取り扱いが減少し、GMV並びに売上高が減少しました。

これらの結果、売上高402,782千円（前年同四半期比23.0%減）、営業利益22,133千円（前年同四半期は10,008千円の営業損失）となりました。

（インキュベーション事業）

当セグメントは、事業投資及び投資先企業の支援を通じて、当社が中長期にわたり競合優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。主たる収益源は、営業投資有価証券の売却益・配当収益、投資先企業へのコンサルティング収益となります。なお、当セグメントでは将来成長の基盤となる海外事業等の新規事業開発等も実施しております。

当第1四半期連結累計期間においては、営業投資有価証券の売却収入がありました。

これらの結果、売上高104,945千円（前年同四半期比8,980.2%増）、営業利益8,764千円（前年同四半期は31,706千円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、6,894,958千円（前連結会計年度末は7,100,239千円）となりました。

流動資産は、5,985,484千円（前連結会計年度末は6,170,637千円）となりました。主な変動要因といたしましては、現金及び預金が68,975千円増加したものの、営業投資有価証券が103,786千円減少、売掛金が77,950千円減少、未収入金が62,261千円減少、商品が16,316千円減少した結果であります。

固定資産は、909,473千円（前連結会計年度末は929,601千円）となりました。主な変動要因といたしましては、ソフトウェアが5,804千円減少、繰延税金資産が3,827千円減少、工具、器具及び備品が2,764千円減少、長期貸付金が2,491千円減少、建物が2,146千円減少、その他（投資その他の資産）が1,485千円減少、のれんが994千円減少した結果であります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、2,409,987千円（前連結会計年度末は2,469,419千円）となりました。

流動負債は、2,216,071千円（前連結会計年度末は2,295,529千円）となりました。主な変動要因といたしましてはその他（流動負債）が26,980千円増加、未払金が16,194千円増加したものの、短期借入金が70,000千円減少、契約負債が21,685千円減少、買掛金が16,342千円減少、未払法人税等が8,570千円減少、1年内返済予定の長期借入金が3,334千円減少した結果であります。

固定負債は、193,915千円（前連結会計年度末は173,889千円）となりました。主な変動要因といたしましては、長期借入金が21,665千円減少したものの、繰延税金負債が42,034千円増加した結果であります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、4,484,971千円（前連結会計年度末は4,630,819千円）となりました。主な変動要因といたしましては、利益剰余金が26,341千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が166,709千円減少、資本剰余金が10,850千円減少した結果であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の連結業績予想については、2023年11月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において、入手可能な事実情報、及び現時点で判明している当社業績への直接的影響に基づき作成しております。今後の状況や市場環境の変化によって当社業績への影響の範囲が大きく変動等した場合、その時点での合理的な算出により業績予想に変更が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,280,940	3,349,916
売掛金	423,363	345,413
営業投資有価証券	1,574,460	1,470,674
商品	36,721	20,404
仕掛品	15	14
貯蔵品	109	163
未収入金	712,495	650,234
その他	201,501	211,086
貸倒引当金	△58,969	△62,421
流動資産合計	6,170,637	5,985,484
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	83,914	81,768
工具、器具及び備品(純額)	48,086	45,322
その他(純額)	2,645	2,492
有形固定資産合計	134,646	129,582
無形固定資産		
のれん	8,950	7,956
ソフトウェア	463,671	457,866
ソフトウェア仮勘定	27,743	27,374
その他	1,623	1,532
無形固定資産合計	501,988	494,729
投資その他の資産		
長期貸付金	14,118	11,626
繰延税金資産	90,754	86,927
破産更生債権等	298,532	298,532
長期未収入金	348,147	340,647
その他	187,978	186,493
貸倒引当金	△646,565	△639,065
投資その他の資産合計	292,966	285,161
固定資産合計	929,601	909,473
資産合計	7,100,239	6,894,958

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	83,684	67,341
短期借入金	1,100,000	1,030,000
1年内返済予定の長期借入金	103,330	99,996
未払法人税等	19,583	11,013
未払金	783,827	800,022
契約負債	124,442	102,757
賞与引当金	3,600	900
その他	77,061	104,041
流動負債合計	2,295,529	2,216,071
固定負債		
長期借入金	63,350	41,685
繰延税金負債	68,290	110,324
その他	42,249	41,905
固定負債合計	173,889	193,915
負債合計	2,469,419	2,409,987
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	973,683	973,683
資本剰余金	907,859	897,009
利益剰余金	2,381,593	2,407,934
自己株式	△340,055	△340,055
株主資本合計	3,923,081	3,938,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	702,871	536,161
為替換算調整勘定	△581	209
その他の包括利益累計額合計	702,289	536,371
新株予約権	2,894	—
非支配株主持分	2,553	10,027
純資産合計	4,630,819	4,484,971
負債純資産合計	7,100,239	6,894,958



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,179,934	1,116,820
売上原価	600,151	540,313
売上総利益	579,782	576,507
販売費及び一般管理費	575,503	531,083
営業利益	4,279	45,424
営業外収益		
受取利息	126	88
受取手数料	810	—
その他	1,999	1,562
営業外収益合計	2,936	1,650
営業外費用		
支払利息	1,595	1,548
為替差損	1,281	13,634
控除対象外消費税等	0	254
その他	703	1,230
営業外費用合計	3,581	16,667
経常利益	3,634	30,407
特別利益		
新株予約権戻入益	14	2,894
受取保険金	—	10,000
特別利益合計	14	12,894
特別損失		
固定資産除却損	—	230
特別調査費用等及び過年度決算訂正関連費用	153,166	—
特別損失合計	153,166	230
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△149,517	43,071
法人税、住民税及び事業税	7,088	6,845
法人税等調整額	12,166	13,082
法人税等合計	19,255	19,928
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△168,773	23,143
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△168,773	26,341
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△3,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,251	△166,709
為替換算調整勘定	—	791
その他の包括利益合計	△7,251	△165,918
四半期包括利益	△176,024	△142,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△176,024	△139,577
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△3,197

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注)2
	ソリュー ション	プラット フォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	662,881	515,897	1,155	1,179,934	—	1,179,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44,684	7,076	—	51,760	△51,760	—
計	707,566	522,973	1,155	1,231,695	△51,760	1,179,934
セグメント利益又は損失(△)	157,126	△10,008	△31,706	115,411	△111,131	4,279

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△111,131千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注)2
	ソリュー ション	プラット フォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	617,930	393,945	104,945	1,116,820	—	1,116,820
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,632	8,837	—	24,469	△24,469	—
計	633,562	402,782	104,945	1,141,290	△24,469	1,116,820
セグメント利益	122,337	22,133	8,764	153,235	△107,810	45,424

(注) 1. セグメント利益の調整額△107,810千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「在庫価値ソリューション」としていた報告セグメントの名称を「ソリューション」、「商品流通プラットフォーム」としていた報告セグメントの名称を「プラットフォーム」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。